



郡上長良川ロータリークラブ

会長テーマ ひだまりロータリー

会長：和田良一 副会長：三島 昭 幹事：島崎秀樹

第 1968回 令和 1年 9月 24日(火)

本日の行事 高鷲例会（やまびこ会との合同例会）

2019-20年度 和田良一会長 幹事報告 島崎秀樹幹事

*各務原中央RCよりIM参加の礼状

第1967回例会

会長挨拶

2019-20年度 和田良一会長

皆さんのお手元にも配っておりますが、今月の6日ですが、覇楼館でパスト会長さんに出席要請をしまして、8名集まっていただきました。そこでIMの実行委員長を決めていただきました。色々候補者も出ましたが、最後に小島正則君で満場一致で決定致しました。後は小島君が引き受けていただけるかと言う事でしたが、気持ちよく引き受けてくれました。本当にありがたい事であり、これからは藤代君と小島君を中心になって頂き、みんなで協力して、来年素晴らしいIMを作っていきたいと思っております。

先週の日曜日、各務原市で行われたIMに11名参加で行って参りました。話の内容は、「100歳まで生きる」と言う事で、どうしたらボケないか、どうしたらいいか、というような内容の話でした。どういことがいいのかと言いますと、地域と関わりを持つ、団体に入っていることが一番良いそうです。常に新しいこと、なんでも興味を持って挑戦をする、そういう人はボケないし、長生きをします。食生活の話は出ませんでした。家で定年になって、奥さんに邪魔にされてテレビの番をしている、そういう人は早くボケると言う事で、いかに100歳まで生きるためには、皆さんにはしっかりロータリーを続けてもらい、地域とも関わりをもち、健康に留意して行けば、皆さんは楽に100歳まで生きれそうです。そんな楽しい話でありました。

この後の外来卓話は、地区委員長の堀部さんに地区補助金の話をさせていただきますので、よろしくお願い致します。

外来卓話（地区補助金について）

地区補助金小委員会 委員長 堀部哲夫様

関ロータリークラブの堀部でございます。

今日はロータリー財団の理解ということですが、私はR財団委員会が今年で6年目になります。委員長を3年すると終わりですので来年までとなります。その間に是非補助金申請をしていただきたいと思います。財団の方に、東海北陸道グループから2枠は必ず委員を咲いていただきたいと思います。今は関RCから2名出ています。1人でも出ていただければと思います。思ったほど大変ではありません。卓話に行くことはありますが、それはそれで良い肥しになると思います。



今日はR財団の理解と補助金の制度について説明致します。

EREY=150の説明を致します。地区やセミナーへ行くと「EREY150以上でお願いします」と言われます。何かというと、エブリーロータリーエブリーイヤ-150\$と言いまして、ロータリーの年次基金寄付を1年間で150ドル以上してくださいということです。郡上長良川RCさんは2017年度157.42\$で150\$突破しています。昨年は113.69\$と云う事で落ちていますので、今年は150\$以上お願いしたいと思っております。この地区内の平均は140\$位です。一部150\$達していないクラブがありますが、今年はほとんど150\$以上になるのではないかと思います。なぜEREYをくどいように言うのかと言いますと、少し前ですとロータリーは職業奉仕が本分ではないか、寄付寄付と本分と違うのではないかとよく言われます。この辺について私たちは説明していかなくてははいけないだろうと思っております。

我々日本人は寄付に対して悪いことではないと考えています。何に使われ結果は如何だったかが気になって、寄付に対して慎重になっています。しかしながらロータリーの発祥のアメリカなどのアングロサクソンの人たちは、寄付する行為自体にステータスと考える人が多いです。寄付する先がロータリーならなお結構だ、ロータリーのような信頼されている団体なら喜んで寄付をするという方が多いです。アメリカにチャリティーナビゲーターというものがあります。チャリティーやボランティアをやったりする所がどのレベルの程度なのか評価するところです。ロータリーは大変高い評価をもらっていて、4つ星を10年連続で評価いただいております。最高の評価を得ています。

社会奉仕、職業奉仕について、ロータリーの変遷をご説明いたします。ロータリーは1905年に誕生しました。この時はお互いの商売が上手くいくようにということで発足しています。信頼できる者同志で商売をしないと儲からない。こういう事でポールハリスが提案して発足したのですが、それに乗っかって、1911年にシェルドンというものができて、商売はこうやるんやと言って、出てきたのが職業奉仕です。この時に出来た職業奉仕というのは、どうやったらお金が儲かるかということを中心にしていました。シェルドン氏はビジネス学校の校長先生で、自分の学校の教科書をロータリーに持ち込んで来ました。ただ「その町で一番流行っているのはサービスが良い店が一番流行っている」と言いました。ですから「もっとも奉仕するもの、もっとも報われる」。それがいいようにいいように取られて、今言った職業奉仕とちょっと変わってきています。その頃から自分たちの金儲けばかり言っているはいけな、社会奉仕をした方がいいという意見が急に大刀してきました。職業奉仕を大事にしたいという人と、世の中の為にしたいと人たちが言い争うようになり、1917年ロータリーが出来てから12年目にメルビン・ジョーンズ氏が退会しライオンズクラブを作りました。ロータリーのメンバーはごっそりとライオンズに言ってしまい、ロータリーも社会奉仕をしたほうが良いと云う事で、アーチクランプ氏がロータリー基金を呼びかけて、社会奉仕をしようとする事になり、これがロータリー財団の始まりとなります。自らの事業の発展を願う職業奉仕から他人を思いやり、他人の為に尽くす社会奉仕に変わりました。皆さんが職業奉仕と聞いて入ったロータリーは100年前から職業奉仕から社会奉仕へと変わって来ました。ところが、100年職業不押しと言われる方と社会奉仕と言われる方が言い合うので、1923年に決議23-34が採択されます。地区へ行きますと、職業奉仕派と社会奉仕派に分かれます。どういうことかという、23-34の決議がされたとき、社会奉仕派と職業奉仕派のいざこざをなくさなくてはならない。23-34の正式な名称は、「社会奉仕活動に対する方針」ですので、やはり社会奉仕になります。しかし職業奉仕派が23-34をバイブルだというのは、自分の職業を一生懸命やる事も社会奉仕の一つだといえます。しかし社会奉仕の一つだけです。自分の職業の専門職をロータリーの団体で奉仕活動をする時に、自分の職業の技術を生かしなさい、そうすれば職業を通じて社会に貢献できる。こういう事が23-34の決議です。しかしロータリーの社会奉仕については3分の2あり、職業奉仕は3分の1だけです。23-34決議については是非読んでみていただくと良いと思います。

1962年には世界社会奉仕になり、ロータリーは変わってきています。今急に変わったわけではありません。

ロータリーについて、ロータリー入会の動機については、国際社会、地域社会に貢献したい人が70%、地域の著名人と知り合える15%、自己研鑽になる10%、商売の為になるが5%しかいません。ほとんどの人が地域に何とか貢献したいと思って入っています。例会に来て、商売に関しての話し合いはありましたか？皆さんが求めているのはほとんどボランティア活動だと思います。ロータリーに入って地域に貢献することを達成しないといけないことが、補助金活動の根本にあると思います。今、企業は社会奉仕貢献が求められています。「あなたの会社は社会貢献していますか？」いわれたときに、関R Cの若い会員に「社長はロータリーに入って社会貢献しています。会社もそれを応援しています」と言われるようなロータリアンになれと言っています。

ロータリーはどれだけ社会貢献しているか、大変な貢献をしていると私は思っています。世界のポリオ根絶活動はロータリーの中心活動だと思います。昨年まではポリオ撲滅でしたが、今年からポリオ根絶となりユニセフやWHOも同じ呼び方ですが、いよいよ根絶まであと一步の所まで来ています。R Iが中心にWHO、ユニセフ、各国の政府に呼びかけて進められていますが、日本が発祥です。世界的に有名な活動で、ビルゲイツが毎年、100億の寄付をしています。何故彼は寄付をし続けるか、彼は名誉が欲しい為です。もし根絶したら歴史的な出来事になると言われています。歴史的な出来事に、ビルゲイツが多額の寄付を協力したと言われるレットテルが欲しいという裏話があります。

ロータリー財団には平和フェローシップがあり、毎年100名近い奨学生が奨学金で大学で学んでいます。世界の6つの大学を指定して送っています。ロータリー財団からは奨学生を出しています。卒業生は国連で大変活躍しています。ご存じだとおもいますが、緒方貞子さんは奨学生第1号です。今、中満泉さんは現国連事務次官長軍縮担当上級代表で緒方さんより階級は上になります。神山由紀子さんは上級インターエージェンシー調整担当官、丸一太輔さんは3年前のグローバル奨学生です。地区補助金は申請が難しいと言われていたのですが、簡単になりました。ロータリアンが自分たちでやる活動に補助金が付きます。地元や海外の事にお金を出します。ここが一番大事ですが、決定権は2630地

区にあります。今まではTRFにありましたが、今は承認だけです。ロータリーの公共イメージの向上で、ロータリーは色々な事をしないと、地域の人に認識していただけません。

70%近い人が奉仕をしたいと思って入ってきています。しかし活動しようにも会員が少ないと活動できません。しかし地区補助金がもらえれば、1人150\$以上寄付をしていけば10万円寄付したら15万円もらえます。クラブで出したお金よりうまく使えば12000\$迄もらえます。人数の少ないクラブでもかなりのメリハリのある事業が出来るように補助金制度があり、自分のクラブの貯金だと思っていただければと思います。

寄付金の流れですが、3つの寄付があります。年次基金寄付 EREY 150\$、恒久基金寄付、使途指定寄付（ポリオ・平和フェロシップ等）に分かれています。年間30\$ポリオに寄付するのは使途指定寄付になります。年次基金寄付は3年間、財団で運用します。ここで得た利益が財団の運営費に回ります。元金は3年後に戻ってきます。

もう一つ恒久基金寄付があります。これは在団が貯めていく財産で、運用して得た利益で運用していきます。恒久基金はだんだんと増やしていき、元本として使いません。その収益を3年後に集めて、それを50%ずつに分けて地区活動資金として使います。もう一つは国際活動資金として使いますが、最終的にはグローバル補助金に降りてきます。我々が寄付したお金は上手に使えば、ほぼ100%が地域の活動費の補助金として使えます。ここ最近、グローバル補助金が増えてきています。皆さんが一番使いやすいのは地区補助金です。

補助金には2種類あり、地区補助金とグローバル補助金です。地区補助金は、地元でも海外でもどこでも使えます。比較的少額な活動に使う補助金です。少額と言っても最高12000\$まで出ますので、150万円や200万円の事業に使えます。グローバル補助金は、地区の限度額が3万\$です。それに見合った額でできますので、600万か700万、それを他のクラブと一緒にやるとなると1500万\$位の事業が出来ます。地区が補助金について管理していますが、今年1年やる事業の身に使えます。それに対してグローバル補助金は、2、3年掛る事業でもいいです。学校を建てたり、病院の器具を入れるのに長い期間を掛けてできます。地区補助金居つについてはこの地区では申請3年前のクラブの EREY 150 がどれだけあったかによります。最高額が\$12000でクラブの拠出金が原則\$500以上、これは私が訴えて地区の規制を変えました。クラブは最低\$500出せば補助金がもらえます。これが1000\$だと10万円ちょっとです。クラブから所行資金を出す活動はないですというクラブが結構ありました。5万円くらいなら何とかあるというクラブが多かったので、変えました。また奨学金としても使えます。

この地区は文化、芸術等で海外の学校に行くための奨学金を出すことができます。グローバル補助金については、持続的な長い期間で使えます。最近はこの地区でも増えてきて、タイで学校を作ったり、井戸水を作ったりしています。今申請があるのは病院の修繕をしたいというのがあります。

補助金利用状況は、今年度117,000\$ありましたが、来年は\$180,000使えますので、私もどうやって配ろうかと思っていますので、是非申請をしていただきたいと思います。

補助金を使うには複数年かかります。事業計画をして補助金を申請するのは前の年です。翌年、実施して報告書を書きます。実施して報告書を出す頃には次年度の申請をしなくてははいけません。申請書の書き方で心配なことがあれば私の所に持ってきていただければ訂正しますので、大丈夫です。是非申請をしていただきたいと思います。補助金小委員会は、皆さんに補助金を使っていただくお手伝いをさせていただき委員会です。分からないことや困ったことがあればご連絡ください。

ご清聴ありがとうございました。

会員3分間スピーチ（父・母について）

藤代 昇君

親父は藤代政太郎という名前です。明治43年産まれです。大間見の週度という所で生まれ、藤代家の二男坊として産まれたそうです。母は梅という名前です。明治45年産まれでした。昔の原口という所で、庄屋の次女でした。父は女兄弟4人、男兄弟2人と聞いています。男の兄弟が陸軍に入って、中佐になったそうで、たまに帰ってきたときに白い馬に乗って帰ってきたと聞いております。100年ほど前ですが、父親と母親は、その頃には珍しく仲良くなり、大和の蚕を紡ぐ所に母親が泊まり込みで女工として働いていて、父親はそこに蚕を炊く為に鎌炊きに行っていたそうです。子供が出来てしまったので、母親の親が貧乏の二男坊の所にはやらんと言われ、子供が生まれても関は入れていなかったそうです。子供が2歳になるまで結婚できず、ようやく許してもらって結婚したそうです。何もなくて、西坂の所を開拓して田んぼを作る時があり、西坂の開拓団に入って、本当にぼろい家で3人から始まって、そこから生活を始めたそうです。電気もないので子供が次々と生まれた様で、僕の兄弟は男7人、女が4人の兄弟です。昔は色々な病気で4歳のころまでに3人亡くなりました。開拓をして、田んぼを8反、畑を2反細分けてもらって百姓をしながら、親父は力仕事が出来たので、駅にある貨車を積む中瀬という仕事があったのですが、中瀬に行ったり、山仕事に行ったりして、お金の高い所に行かないと子供は沢山いるし貧乏なので、明け水垂らして働いてくれたそうです。子供が病気で亡くなる時に、自分ではできないことは朝まで子供を抱いて、寝ずにいても仕事に行った親父だったらいいです。子供を本当にかわ

いがる親父で、僕が小学生の頃、中瀬にいくと、西坂にある養連寺さんの所でお酒をもらって5時頃いっつも寝ているんです。母親が迎えに行けとるので、暗い道を弟と二人で行くとすごいびきをして寝ているので、連れて帰ってきました。母親は貧乏なくせに、人が来ると何でもいいから飯を食っていけと、ふるまっていました。従弟たちが来ると靴を隠せ、そうすれば帰れないと云って、もてなしていました。そんな母親で、貧乏で大変苦しい生活の中で、人をもてなすという気持ちを持った母だったなと子供心に思いました。母親が先になくなり、昭和58年に79歳がガンで亡くなりました。父は63年位85歳で亡くなりました。父親はまじめに働いて、借金はありましたが、盆と正月にお歳暮を送っていたので、貧乏でも信用のある人でした。僕が商売を始めた時にあの親父の子供なら大丈夫だと言われ、親が七光りを与えてくれて、今でもその心を忘れないようにしています。

ニコBOX

ニコBOX委員会 石徹白秀也君

補助金小委員長 堀部哲夫様 卓話、お願いします。

和田君 地区ロータリー財団補助金小委員会委員長 堀部哲夫様、遠路お越しいただきありがとうございます。今夜はよろしくお願いします。IM出席の皆様、お疲れ様でした。

寺田澄男君 堀部様、夜分の例会で申し訳ありません。R財団補助金についてご指導の程よろしく願います。今年の秋はあちこちの神社の祭りが開催されるようです。是非出かけたいですね。

藤代君 堀部様、本日は卓話ご苦労様です。よろしく願います。IMIに出席された皆様、ご苦労様でした。大変盛り上がった反省会でした。

三島昭君 堀部哲夫さん、遠路卓話よろしく願います。

山口君 ロータリー財団、堀部哲夫様、本日はよろしく願います。

以下同文 小島君、原君、美谷添生君、岩谷君、畑中君、三島勲君、山田君、和田智博君、旭君

美谷添里恵子君 南アフリカ ジンバブエ、ザンビアへ行って来ました。大切に保護されながらも厳しい自然の中で生息する動植物たち、壮大なビクトリアの滝、ケープタウン喜望峰、究極の非日常を味わってきました。

佐藤君 初めてIM（インターシティーミーティング）に参加しました。

宮川君 日曜日のIMはとても勉強になりました。参加された皆さん、お疲れ様でした。

石徹白君 次週の高鷲例会に行けませんので、いつもの倍、投函しました。よろしく願います。

次回例会予定

10月 2日 米山奨学生 呉君 卓話

10月16日 会員卓話（大村君）

10月 9日 会員卓話（出席委員会）

10月19日 財団研修セミナー（津市）

出席報告

出席委員会 寺田正実君

	会員数	出席者数	欠席者数	補正者数
第1966回	35名	22名	11名	3名
第1967回	35名	16名	14名	5名